

平成 18 年度短期大学部環境緑地学科緑化企業実習 実習報告書

短期大学部・環境緑地学科

実習先：吉実園

実習期間：2月5日～2月9日

実習内容：

- 2月5日 ブタのえさやり、道路の落ち葉、枝の掃除、マンション建設予定地の伐採作業、チップ作業、伐採した枝の回収作業、枝の片付け
- 2月6日 ブタのえさやり、農園内のシュロの片付け、マンション建設予定地でのチップ作業、枝、幹片付け、掃除
- 2月7日 ブタのえさやり、にわとり小屋の掃除、農園内のガラ石集め、畑で家畜のえさ収穫、雑草取り、堆肥まき
- 2月8日 ブタのえさやり、道路の落ち葉、枝の掃除、マンション建設予定地にて残りの木材のチップ作業、家畜にチップやり、伐採した木の焼却、畑の雑草とり、ブタ小屋の修繕
- 2月9日 個人庭園にて剪定作業、落ち葉、枝集め、掃除、農園内の植物の移植、剪定した枝集め、鶏の卵とり、道路の掃除

実習効果：

社会の一員として5日間体験することができ、社会についてまわる仕事に対する責任と信頼を強く感じることができ、実際の個人庭園の仕事を知るとても良い機会でもあり、今まで自分が実習で学んできたことを最大限に生かすチャンスの場合でもある。また、曖昧だった自分の将来の目標を明確にすることもできた。普段扱うことの出来ない大きな樹木などに触れることが出来、色々な重機も間近で見ることが出来、とても貴重な経験をつむことができた。

今までにない緊張感と責任を感じることでできる実習であった。学業と仕事の大きな違いを痛感することが出来、お金を稼ぐということのむずかしさや責任を感じる事が出来た。また、社会で大切な目上の方に対する気配りも教えていただくことができた。仕事をした現場の後片付けにすごく厳しく、片付けたあとの現場を見てその仕上がりの美しさに職人を感じることができた。これがお客様の信頼につながるのだと教えていただくことができた。この実習で得た経験はとても貴重で自分にとってかけがえの無いものであり、今後の人生を左右する上での、いい情報となることができた。この経験を糧にして、将来の目標を明確にし、自分の夢に突き進んでいきたいと思わしてくれることのできる実習であった。

感想：

この5日間の経験は僕にとってとても強烈でした。実際にお仕事をなさっている方々と一緒に生活し、お手伝いをさせていただいて、この世界を自分の体で体験することができました。学生生活での実習と違い、お客様からお金をもらっているという責任を常に考えて、半端な作業は一切しないという大切さや緊張感を教えていただきました。とくに、片付けの大切さが身に染みしました。個人庭園において、落ち葉ひとつ残さない気で掃除をすることや、移植などで道路を汚したり、また落ち葉などで周辺の住民の方に迷惑をかけないように一生懸命掃除をするということが社会人としての責任と信頼なんだなと思いました。また、一切の無駄が無いと

ということがすごいなと思いました。行動するときは常に先のことを考え、ここでこうしたほうがあとで片付けや作業が簡単などを頭において時間を無駄にせず、効率よく行動する。伐採や剪定した木でチップを作り、それをえさとして動物にあげてごみを出さず、その動物の糞で堆肥を作り、その堆肥を商品として売ったり、自分の農園で畑の肥料として利用する、一切の無駄を排除した仕事に職人を感じました。また、社会において大切な目上の方に対する気配りも教えていただきました。休憩時のお茶の準備や空になったのを見て、注ぎに行くなどちょっとした気配りの大切さも痛感しました。

この5日間で得た経験は将来を決めていく具体的な考えのすごくいいきっかけにもなりまし、人生を決める上ですごくいい体験でもありました。

親方さん、会社のみなさん、いろいろ優しく教えていただき、本当にありがとうございました。皆さんに教えていただいた経験を糧にしてこれから頑張りたいと思っています。また、宿泊でお世話になった家族の方々、本当にありがとうございました。緊張と心細かったのも、いつも暖かく迎えていただいて5日間過ごすことができました。食事も美味しかったです。この実習でとてもかけがえのない経験をさせていただきました。これからはこの経験を生かして、将来の目標を明確にし、それに向かって頑張っていきたいと思っています。

